

緑のカーテン取り組み情報



お名前	甲府市立玉諸小学校（甲府市）		
育てた植物の種類	パッションフルーツ、ゴーヤ、ナタマメ		
設置場所	校舎とグラウンドの間の場所(職員室前)		
カーテンの大きさ	高さ: 約 3m, 幅: 約 20m	取り組み年数	5年目

緑のカーテンの効果

- ・冷房の設定温度…27℃、(涼しい日や午前中などは冷房をつけない時もあります)
- ・職員室の窓から入る日差しを遮り、建物内の温度の上昇を抑えています。午後は強い日差しが照りつけますが、グリーンカーテンのおかげで明るい室内を保ちつつも室内が熱くなるのを防いでれています。運動会では建物の外の数少ない日陰場所となるため、とても重宝されています。木陰と同じように涼しさを感じられるようです。

育てる際の工夫・苦労

- ・【植物の剪定】昨年と同様に職員室前のエントランスにグリーンカーテンを作ることを目的としたため、つる性植物で成長が早く葉が茂る植物である「パッションフルーツ」と「ゴーヤ」を剪定した。パッションフルーツは昨年秋に校長先生がさし木をして冬の温度管理をして育てた苗を10株使用し、エントランスには日常的に児童が行き来するため、病害虫に強く消毒などの対策をほとんど必要としないパッションフルーツとゴーヤにした。
- ・【土づくり】土は既存の花壇に有機肥料と化成肥料を混同したが、水はけがあまりよくない土だったので、昨年保存しておいた枯葉を多めに混合した。
- ・【水や肥料おやり方】水は一日一回とし夏休み期間中は日直の教員が水やりをしていたので水不足になることはなかった。2週間ごとに化成肥料を少量施したが、パッションフルーツは開花時期の5月から6月の成長が非常に悪かったため、開花が少なくほとんど結実しなかった。パッションフルーツの開花が少なかったのは、チッソ成分の肥料が多く、リン酸肥料が少なかったためとも考えられる。
- ・【病害虫への対策】パッションフルーツ、ゴーヤは病害虫に強いいため、特に対策を行わなかった。
- ・【成長】ゴーヤは定植初期の摘芯を行わなかったため雌花が少なかった。摘芯した後は枝も増えたとともに雌花も増加し十分な実つきが得られた。パッションフルーツは7月に入り気温が上昇すると、枝の成長が早まりなんとかグリーンカーテンになりえるだけの成長があった。

感想・楽しみ方など

- ・収穫した植物は教員で分け合って持ち帰り、おいしくいただいています。グリーンカーテンは、植物の良さや大切さ、成長の仕方などを学ぶ教育の良い機会でもあり、夏における熱中症対策として実質的な効果も期待できる、とても有効的な取り組みだと思います。多くの家庭や自治体で取り組んでいけるような対策が必要だと思いました。